

平成26年度第2回島根県公共事業再評価委員会質疑応答

件名	平成26年度 第2回島根県公共事業再評価委員会
日時	平成26年8月6日(水) 9:00~16:00
場所	抽出地区(安来市、出雲市)
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ●委員 安部康二、岡清二、 来海公子、木村和夫、宗村広昭、高田龍一、藤山晶子、藤原眞砂、正岡さち、三輪淳子(敬称略) ●県 土木部 技術管理課長、河川課GL、道路建設課GL、港湾空港課GL、森林整備課GL、広瀬土木事務所課長、出雲県土整備事務所課長、隠岐支庁農林局課長、 他
議事	<p>抽出箇所の現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 一般県道草野横田線 草野工区 2 総合流域防災事業 木戸川 3 県営林道開設事業 上ヶ床線第1期工事 4 広域河川改修事業 高瀬川

質疑応答

◆一般県道草野横田線 草野工区

(委員) 事業区間(L=2480m)は2車線改良を対象としているか。

(県) 2480m内に2車線改良区間と現道活用区間がある。現道活用区間は待避所整備を行っている。

(委員) 黒色表示の区間(当該事業外)も整備を行っているか。

(県) こちらも1.5車線改良を行っている。H24から東比田工区として着手している。

(委員) 温泉、神社が路線沿いにあるが、観光客等の訪問者は多いか。この路線と他路線のつながりが分かり難い。

(県) 比田温泉はたくさんの方が来られる。縄久利神社は祭りの時は多いが普段はそう多くない。路線のつながり、周辺の観光施設は別資料を準備させていただく。

(委員) 道路を利用する子供はいるのか。

(県) いる。赤屋小学校まではバス通学である。

(委員) 路線バスは走っているか。

(県) 路線バスはないが、コミュニティーバスが走っている。

(委員) カーブミラーの設置が少ない。設置は誰がするのか。

(県) 道路管理者である県が設置する。

(委員) 待避所設置が進まない理由として、相続人が多いと土地の取得が難しいのか。

(県) 待避所など取得面積の小さい場合であっても、全地権者の了解が必要である。この道路の沿線の土地は30名程の関係者がいる土地が多く、所在が不明の方もあり、土地取得に長い年数を要す。

(委員) 私有林が多いということですか。

(県) はい。

(委員) 改良したことで交通量は増えるか。

(県) 急増することはないかもしれないが、利用は増えると思われる。

(委員) 平成23年に全面通行止めになったのは旧道か。

(県) 旧道である。この箇所は既に改良が完了している。(車窓から復旧箇所を説明)

(委員) 積雪はどの程度か？

(県) 道路の脇は、人の背丈ぐらいまでになる。

(委員) 日南町の人を通るのか。

(県) 安来へ行く人は通らないが、松江に行く場合は、距離が近いので、この道を経由し国道432号を通る人が多い。

◆総合流域防災事業 木戸川

(委員) これまで長引いた原因は。

(県) 安来市の中心市街地で川沿いに民家があり、用地取得に時間を要したため。現時点ではほぼ用地取得が完了している。

(委員) どこから流れてきているか。

(県) 清水寺あたりからである。

(委員) 「水辺の楽校」として川に入れるようになっているが、誰が管理するのか。

(県) 河川管理者である県が管理することになる。

(委員) 川に汚水が入っていないか。水質の調査は行っているのか。下水道事業など他事業と整合をとって進めてほしい。

(県) 市街地は下水道が整備されており、汚水の流入はない。

(委員) 「水辺の楽校」は必要性があるか。整備後の利用があるか心配だ。
(県) 周辺の小学校、保育園や地元のかたの意見を聴いて計画を立てたものである。
(委員) 都市公園にはならないか。
(県) ならない。

(委員) 木戸川の水を並行して流れている伯太川に流せないか。
(県) 木戸川よりも伯太川の河床が高く流せない。
(委員) では、ポンプアップをしたらどうか。
(県) 流量の大きさからコストがかかり、河道改修が優れている。

◆県営林道開設事業 上ヶ床線第1期工事

(委員) 隠岐は県内で林道の密度が既に高いと聞いている。さらに林道が必要なのか。
(委員) 本土とくらべ海上輸送などのコストがかかる。具体的なコスト差解消策が無ければ、港に木材が山積みといった状況にならないか。
林道を作っても島外搬出にお金が掛かり、搬出できないなら、林道の必要性がわからない。
(委員) 隠岐の島町の産業の中での林業の位置づけがわかる資料を次回示してほしい。
(県) 必要性について整理して、後日説明します。
(委員) 離島振興計画に位置づけられているか。
(県) 位置づけられている。

◆広域河川改修事業 高瀬川

(委員) 橋梁前後の取り付けは構造物（石張り護岸）で固めているが、これから施工する区間も同じ構造か。
(県) ここは橋梁取り付け部であり、重要構造物を保護するために石張りをしている。一般部は植生を施す計画としている。
(委員) 「ホームセンターいなし」の建物は支障となるか。
(県) ならない。管理道の幅を少し狭くして支障にならないよう計画している。
(委員) 計画が長期化しているのはどういう理由か。
(県) 国道9号橋梁の架け換えに伴い、迂回路の切り替えや支障物件の移転など、事業間の調整に日数を要したためである。